

平成29年度自殺防止対策事業 実績報告【概要】

自殺予防ソーシャルワークに関するテキスト開発およびリーダー養成研修事業

公益社団法人 日本社会福祉士会

事業概要

- 本事業においては、平成28年度自殺防止対策事業で開発したアセスメントツールに関するプレテストを、「ネットワーク構築」「多職種連携」の視点から継続実施するとともに、生活困窮者自立支援制度における自立相談支援機関や、地域包括ケアの中核拠点である地域包括支援センター等、ソーシャルワークの実践現場に従事する社会福祉士が、日常の実践の中で、自殺の疑いがある人の状況を適切にアセスメントし、関係機関との連携できる実践力の向上に資するための「テキスト開発」を進めることとした。
- また、リーダー研修を通じ、都道府県における自殺予防に関する取り組みの中核となる人材の養成を目指した。

事業の内容及び成果

(1) 自殺予防ソーシャルワーク研修（大阪会場）の開催

- 2018年1月13日～14日の2日間にわたって研修会を開催し、全国26都道府県から52名のリーダーが参集。「自殺の実態と施策の動向」「対象者の理解」「自殺予防と権利擁護」「社会資源の理解と活用（精神科領域・法律家との連携のコツ）」の講義をベースに、「自殺リスクが疑われる人」「自死遺族への支援」について、グループワークを展開した。
- 本研修には、プログラム開発のプロセスから、厚生労働省、全国精神保健福祉センター長会、日本弁護士連合会、学識経験者の協力を得ることができ、受講者アンケートによるプログラム評価においても、5段階評価で「平均4.7」という非常に高い評価を受けることができた。
- 今後、準備ができた都道府県から、地域での開催が検討されていく予定であり、本研修に参加したリーダーを中心に、各都道府県社会福祉士会における自殺予防に関する取り組みが進めるための条件整備ができた。

(2) テキスト開発

- 研修修了者が、自らの地域において、本研修を円滑に実施、運営していくにあたっての解説書的な位置づけとなる補助教材として、「自殺予防ソーシャルワーク研修基本テキスト」を開発し、上記の研修会で配布、伝達を行った。
- 今後は、今回の成果を契機として、研修受講者のみならず、ソーシャルワークの実践現場の社会福祉士、ないし社会福祉士養成校の学生等が、テキストを通じ「ソーシャルワーク視点に基づく自殺予防」について学べるための普及方法を検討する必要性も確認できた。

(3) アセスメントシートの試行（プレテスト）

- アセスメントシートの試行と検証を行うために、地域包括支援センター、基幹型障害者相談支援事業所、福祉事務所、医療機関の社会福祉士の実践を対象に、「多職種協働の視点からの活用方法」をテーマとするプレテストを実施した。プレテスト協力者から聴取した意見から改善点と普及に向けた示唆を得ることができた。